

自分を見つけてもらう、探してもらうのを待つだけでは大きな機会・利益の損失である
技術、技術開発活動、更には技術戦略や研究開発の風土等を外部に発信し、新しい分野・業界を主戦場とする



価値づくりセミナー

<自社の技術、その戦略を外部に発信する> 研究開発部門が担うべき技術広報・技術コミュニケーションの 全体像と効果的・具体的活動

～御社の技術・事業は本当に知って欲しい業界・会社・市場に届いていますか～
<価値づくり特集セミナー>



日時	2019年6月13日(木) 13:00～16:30	会場	東京・品川区大井町 きゅりあん 4F 研修室
受講料	43,200円 ⇒S&T会員 41,040円 ※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方は)価格が5%OFFになります。 (定価:本体40,000円+税3,200円 会員:本体38,000円+税3,040円)		
			資料付

講師 ベクター・コンサルティング(株) 代表取締役 浪江 一公 氏

趣旨 近年オープン・イノベーションが経営の中の有効な手段となりつつあり、オープン・イノベーションを積極的に推進する企業において、必ずしも自社の技術分野についての理解が高くない企業等も含め、自社の技術や技術開発活動、更には技術戦略や研究開発の風土等を外部に発信することで、新しい分野などでのパートナーを探す企業が増えてきています。このような活動は技術広報・技術コミュニケーション活動と呼ばれています。

この技術広報・技術コミュニケーション活動は、オープンイノベーションのパートナー探しだけではなく、自社製品の購買者やESG投資に関心を持つようになってきている投資家やアナリスト、また求職者、さらにはマスコミ等自社の 様々なステークホルダーに対しても広く行う効果には大きなものがあります。

今回、本セミナーでは、このような技術広報・技術コミュニケーション活動の全体像をご紹介します。また最後には、参加者の皆さんから「技術広報活動の推進上の課題」に関するディスカッションをしていただき、他社との技術広報・技術コミュニケーションにおける課題の共有をしていただく場を設けます。

プログラム	1. 技術コミュニケーションとは 1.1 様々なステークホルダーとの間での技術およびその活動に関わるコミュニケーション 1.2 技術広報 vs. 技術コミュニケーション	3.6 保有技術(富士フィルムの例) 3.7 研究開発風土・価値観・哲学(ホンダ、3M、ダイソンの例) 3.8 技術情報の開示に関して
	2. 技術コミュニケーションの3つの目的 2.1 目的1:「市場」を対象とした価値の『創出』 2.2 目的2:「市場」を対象とした価値の『周知』 2.3 目的3:「様々なステークホルダー」を対象としたCSV(価値協創)の実現	4. ステークホルダー別の技術コミュニケーションの展開 4.1 顧客 4.2 パートナー 4.3 機関投資家・アナリスト
	3. 技術コミュニケーションの対象コンテンツ 3.1 技術コミュニケーションで扱うコンテンツの全体像 3.2 長期ビジョン(キヤノン、3M、シーメンスの例) 3.3 技術戦略(富士フィルム、花王の例) 3.4 新製品・既存製品への組込技術(マツダ、ホンダの例) 3.5 イノベーションを誘発する現状の設備・組織・仕組み・活動の工夫(SHOEI、ヤンマー、シマノの例)	5. 「戦略的技術コミュニケーション」に向けての体制 5.1 体制を考える上での技術コミュニケーションの重要要素 5.2 戦略的技術コミュニケーションに求められる要件 5.3 技術コミュニケーション強化に向けての取組み例(エレクトロニクスA社、素材系企業B社、富士フィルム) 5.4 強力な布陣のオープンイノベーション推進部署を設立 5.5 トライアル・アンド・エラーの学習を行う覚悟の重要性
	□質疑応答□	

■2名同時申込みで1名分無料■
(1名あたり定価半額の21,600円)

※2名様ともS&T会員登録をしていただいた場合に限りです。※受講券、請求書は、代表者にご郵送いたします。※同一法人内(グループ会社でも可)による2名同時申込みのみ適用いたします。
※3名様以上のお申込みの場合、左記1名あたりの金額で受講できます。
※「価値づくりセミナー専用クーポン」以外の割引は適用できません。
※請求書および領収書は1名様ごとに発行可能です。(通信欄に「請求書1名ごと発行」と記入ください。)

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙 K190613 (技術広報) P

会社名 団体名			
部署			
役職	〒		
ふりがな	住所		
氏名			
TEL	FAX		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。※□にチェックをご記入ください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

今後のご案内

E-mail希望・登録済み) S&T会員価格を
 郵送希望・登録済み) 適用いたします。
 希望しない) (E-mailアドレス必須)

お支払方法

銀行振込 (振込予定日 月 日)
 当日現金払い

通信欄

●受講料について 「2名同時申込みで1名分無料」については上記の注意事項をお読みください。
●お申込みについて 申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。
●お支払いについて 受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。振込手数料はお客様がご負担ください。

●個人情報の取り扱いについて ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。詳しくはホームページをご覧ください。
●キャンセル規定 開催日から逆算(営業日:土日・祝祭日等を除く)いたしまして、
・開催7日前以前でのキャンセル: キャンセル料はいただきません。
・開催3～6日前でのキャンセル: 受講料の70%
・開催当日～2日前でのキャンセル・欠席: 受講料の100%
※ご注意※ 参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

S&T サイエンス & テクノロジー
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍

サイエンス&テクノロジー株式会社
TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187
〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
http://www.science-t.com